

(2) 主に中学校で考えられる分散登校の実施例

- 各学級を、A・Bの2グループに分け、学級の人数が20名以下となるようにする。(グループ編成は、兄弟姉妹関係や地区等を考慮)
- 各グループは、期間中に4日間、午前中4時間の授業、給食、午後2時間の授業を実施する。

	13日(水)	14日(木)	15日(金)	18日(月)	19日(火)	20日(水)	21日(木)	22日(金)
午前	グループA	グループB	グループA	グループB	グループA	グループB	グループA	グループB
	給食							
午後	グループA	グループB	グループA	グループB	グループA	グループB	グループA	グループB

4 分散登校日における教育活動について

- 分散登校による登校日の設定日及び実施方法(グループ分け・時間割)等の詳細につきましては、各学校の実態を考慮し、改めて各学校より連絡いたします。
- 3つの密を避けるために、①教室内の換気を徹底する、②学級の人数を20人以下とし、児童生徒の席の間に可能な限り距離(概ね1~2メートル)を確保する、③対面とならないような形で授業をする等の対応をとります。
- 感染予防対策を徹底した上で、給食を実施いたします。

5 児童クラブ等における児童生徒の受入について

- 児童クラブの実施につきましては、所属の児童クラブ及びホームページ等にて、5月11日(月)までにご案内いたします。
- 5月13日(水)からは分散登校が始まり、学校では、全学級で授業が行われることから、家庭で対応が難しい児童生徒の学校での受入は難しくなる場合があります。児童クラブに所属しておらず、やむを得ない事情等がある場合に限り、学校にご相談ください。

6 今後の対応方針について

- 国や県の動向及び感染状況等を見ながら、総合的に判断し、適宜対応を見直して参ります。